

2012 年度ゼミ活動紹介

第9期ゼミ長 水田 弥英

小野ゼミ OB・OG の皆様、いつもお世話になっております。小野晃典研究会第9期ゼミ長の水田弥英です。今年度も OB・OG 総会が開かれ、OB・OG の皆様と現役生が交流する機会に恵まれることができ、非常に喜ばしく思います。

今年度、小野晃典研究会は、新たに20名の第10期生を迎え入れ、総勢47名で活動を行いました。なお、47名のうち3名は特別聴講生であり、彼女らは、留学生であることや他キャンパス所属であるといった理由から正規の入ゼミ試験を受けてはいないものの、小野ゼミの活動に参加したいという心意気が強くあったため、特別に小野ゼミを聴講することが認められました。



最初に、簡単ではありますが、学年ごとのゼミ活動を紹介させていただきます。3年生にあたる第10期生は、前期には、基礎文献レポート、多変量解析実習、英書講読、ケース・メソッド、ディベートといった活動を通してマーケティング論の知識を蓄え、後期には、前期に蓄えた知識を駆使しながら、三田祭論文執筆活動に打ち込みました。また、第10期生は、小野先生が過去に執筆された論文を、あたかも自分の論文であるかのように発表する「論文レクチャー」という企画を新たに立案し、このレクチャーを通して、「学ぶこと」だけではなく「教授すること」も学びました。4年生にあたる第9期生は、卒業論文執筆のほか、レポート添削やレクチャーなどを通して、積極的に後輩指導を行いました。また、大学院生の方々は、研究者としてご自身の研究を高められるのと同時に、教育者として第10期生の三田祭論文執筆や第9期生の卒業論文執筆をはじめ、あらゆる局面で現役ゼミ生を支え、導いてくださいました。このように、先輩や後輩の分け隔てなく、学び教えあう、「半学半教」を実践してきた1年間でありました。

続いて、私たち現役生が今年度送ってきたゼミ活動を、時系列に沿ってご紹介させていただきたいと思います。

桜舞い散る4月、前述のとおり、20名の第10期生を迎え、今年度の小野ゼミはスタートいたしました。小野ゼミの伝統の1つである多変量解析実習ですが、今年度は、記念すべき第1回目のレクチャーを小野先生に行っていただきました。小野先生の明快なレクチャーに、第10期生だけではなく、第9期生も傾聴しました。

第10期生もようやく小野ゼミ生活になれてきた6月、関西大学岩本明憲ゼミナール・慶應義塾大学高田英亮ゼミナールとの3ゼミ対抗ディベート大会を行いました。昨年度は、惜しくも1勝1敗という結果に終わってしまいました

が、今年度は、第9期生の熱い指導の下、第10期生が見事奮闘してくれました。その結果、両ゼミに対して、小野ゼミは勝利を収めることができました。

8月には、毎年恒例の夏合宿が、尾瀬にて行われました。三田祭論文発表・卒論発表・夏ケース発表だけではなく、



お花見にて
荻野真央先輩（第8期ゼミ長）・黒沢祐介先輩（第8期OB）
樋口優美先輩（第8期OG）と共に

く、スポーツ・飲み会・肝試し・川遊びなどレクリエーションも盛り沢山の非常に賑やかな合宿となりました。また、合宿最終日には、カナダからの交換留学生である第9期特別聴講生清水鈴さんのお別れ会がサプライズで行われました。清水さんにとっても、他のゼミ生にとっても、非常に思い出深い合宿となりました。

10月には、小野ゼミの兄弟ゼミにあたる、高橋郁夫ゼミナール・高田英亮ゼミナールとの3ゼミ合同講演会が行われ、各ゼミが三田祭論文の中間報告を行い、互いに切磋琢磨いたしました。この企画を通して、研究の質を高めることができただけでなく、兄弟ゼミ間の親交を深めることができたように思います。

三田キャンパスの銀杏が美しく色づく11月、第10期生が三田祭論文の研究発表を行うかたわら、第9期生は「チゲ&アスカ2」という店名で模擬店を出店し、純豆腐チゲを販売しました。期間中、お昼頃にスープが底をつくといったハプニングもありましたが、最終的に、14万円もの利益を出すことができました。お立ち寄りくださったOB・OGの皆様方には、改めて感謝申し上げます。

以上、簡単ではございますが、今年度のゼミ活動についてご紹介させていただきました。詳細はスケジュール表をご覧ください。

さて、今年度も、小野ゼミの研究成果が学内外で認められ、数々の賞を受賞いたしました。こちらにつきましても、簡単ではございますが、ご紹介させていただきます。

まず、第9期英語論文執筆プロジェクト・チームが、「Global Marketing Conference」において発表を行いました。彼らが第一線の研究者にも負けず劣らず、英語で発表を行ったことは、小野ゼミの三田祭研究論

文が世界に通用するという事を裏付けることとなりました。さらに、2013年2月には、世界最高峰のマーケティング学会である「AMA Educators' Conference」において発表を行う予定になっております。AMA といえば、小野ゼミのOB・OGの皆様におかれましては、何度も耳にしたことのある言葉であると思います。このAMAにおいて、学部生が発表を行うことは異例と聞き、感慨深く、非常に誇りに思います。

また、今年度、小野ゼミは2つのビジネス・コンペティションに参加し、それぞれにおいて栄誉ある賞を受賞しました。関西大学ビジネス・コンペティション KUBIC においては、湘南藤沢キャンパス所属である第10期特別聴講生藤原夏希さんの考案したビジネスプランが、企業賞（スターバックス賞）を受賞しました。加えて、神戸市外国語大学が主催する第2回全国大学生マーケティングコンテストにおいては、有志の小野ゼミ生で結成したチームが、準優勝を受賞いたしました。優勝は惜しくも主催校である神戸市外国語大学チームに譲ってしまいましたが、昨年度は3位以内に入賞できなかったことを顧みますと、大きく健闘し、昨年度の雪辱を果たすことができたといえるのではないかと思います。また、チームメンバーの1人である、アメリカからの交換留学生である第10期特別聴講生ダーリーン・イェン・オードさんにとっては、日本での印象深い思い出になったのではないかと思います。

さらに、第9期生の卒業論文4本が、このたび慶應義塾大学商学会賞を受賞いたしました。この受賞内定で、小野ゼミはゼミ再開以降6年連続で同賞受賞者を輩出することとなりました。加えて、4本もの商学会賞受賞内定は、小野ゼミ史上初の快挙であります。昨年度の第9期関東十ゼミ討論会担当三田祭研究論文プロジェクト・チームの受賞に引き続き、同期の、質の高い研究が義塾に評価していただけたことは非常に感慨深く、誇りに思います。

このように、今年度の小野ゼミは、学内だけではなく、学外、さらには世界にまで活躍の場を広げ、「ゼミ史上初」をいくつも成し遂げることができました。今後とも、小野ゼミの更なる飛躍にご期待ください。

末筆ではございますが、今年度もOB・OGの皆様には現役生とともに小野ゼミの活動を盛り上げていただきまして、誠にありがとうございました。

第10期生入ゼミ試験後の歓迎会には、横山嵩先輩（第3期）、池谷真剛先輩（第5期）、窪田和基先輩（第6期）、白石幸太郎先輩（第7期）、黒沢祐介先輩（第8期）、荻野真央先輩（第8期）が駆けつけてくださり、現役生と共に、第10期生入会をお祝いしていただきました。4月上旬に開かれましてお花見には樋口優美先輩（第8期）、黒沢祐介先輩（第8期）、荻野真央先輩（第8期）が参加くださいました。4月下旬の本ゼミでは、杉山摩美先輩（第3期）が、「グループでアイデアを案出すること」やご自身のお仕事について、ご講演くださいました。春合宿には、池谷真剛先輩（第5期）、氏田宗利先輩（第7期）がお越しく下さり、現役生とともに飲み会などのレクリエーションを盛り上げてくださいました。また、第8期の先輩方からは、差し入れのお酒をいただきました。夏の納会には、横山嵩先輩（第3期）、松本奈保子先輩（第7期）が駆けつけてくださいました。また、中川美穂先輩（第7期）、荻野真央先輩（第8期）、黒沢祐介先輩（第8期）が、退社後に、本ゼミに足を運んで下さいました。さらに、恒例の三田祭論文展

示の際には、森岡耕作先輩（第3期）、池谷真剛先輩（第5期）、田中照太先輩（第5期）、近澤絵里奈先輩（第5期）、高崎恭子先輩（第5期）、小嶋良一郎先輩（第6期）、氏田宗利先輩（第7期）、松本奈保子先輩（第7期）、橋本賢治先輩（第7期）、岸本啓太郎先輩（第7期）、小野杏奈先輩（第7期）、澤井友香里先輩（第7期）、奥野朱子先輩（第8期）、荻野真央先輩（第8期）がお越しくださり、第10期生の三田祭論文の発表をお聞きくださったほか、差し入れの御品をいただきました。横山嵩先輩（第3期）は、三田祭の打ち上げに参加してくださり、お酒を差し入れてくださいました。今年度最後のサブゼミでは、昨年度に引き続き、宮田純先輩（第6期）が、キリンビール株式会社の会社説明会を開催してくださり、第10期生に対して就職活動に関する助言をしてくださいました。

OB・OGの皆様には、入ゼミ関連のイベントにおいても、ご支援いただきました。春学期に行われました入ゼミ説明会には、荻野真央先輩（第8期）、相原由佳先輩（第8期）がお越しくくださいました。そして、秋学期に行われましたオープンゼミには、白木俊介先輩（第1期）、氏田宗利先輩（第7期）が駆けつけてくださり、未来の第11期生と現役生に向けて、ご講演くださいました。また、今年度最後の入ゼミ説明会には、荻野真央先輩（第8期）がお越しくくださいました。

今年度も、お忙しい合間を縫って、ゼミ活動やイベントに参加くださったOB・OG皆様方に、改めて感謝申し上げます。

来年度も、やる気に満ち溢れた第10期生、そして第11期生たちが、ゼミをさらに盛り上げてくれることでしょう。OB・OGの皆様方には、これからもあらゆる局面でお力をお借りすることと存じますが、変わらぬご支援・お力添えのほどよろしくお願い申し上げます。



後期納会にて
氏田宗利先輩（第7期ゼミ長）と共に